

## 令和7年上半年分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

## 1. 清水港

輸出総額は10,304億円（対前年同期比2.2%の減少、比率ベース：4期連続の減少）、輸入総額は6,907億円（同0.4%の減少、2期ぶりの減少）であった。差引額は3,397億円（同5.6%の減少）の輸出超過であった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「コーヒー・茶・ココア・香辛料類」などは増加したものの、「科学光学機器」、「自動車の部分品」、「写真用・映画用材料」などが減少した。

輸入は「金属鉱及びくず」、「魚介類及び同調製品」などは増加したものの、「液化天然ガス」、「飼料」、「有機化合物」などが減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。輸入は「アメリカ」が減少、「アジア」、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	10,304億円	▲2.2%	6,907億円	▲0.4%	3,397億円	▲5.6%
	4期連続の減少		2期ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 加熱用・冷却用機器	319億円	+68.7%	輸入	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	138億円	3.3倍
		(2) コーヒー・茶・ココア・香辛料類	76億円	+77.8%			(2) 魚介類及び同調製品	1,026億円	+9.3%
		(3) 非鉄金属	201億円	+14.8%			(3) 重電機器	168億円	+51.2%
	減少品目	(1) 科学光学機器	610億円	▲25.1%		減少品目	(1) 液化天然ガス	532億円	▲8.9%
		(2) 自動車の部分品	843億円	▲12.9%			(2) 飼料	81億円	▲22.3%
		(3) 写真用・映画用材料	223億円	▲24.2%			(3) 有機化合物	258億円	▲6.9%
	主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加				主要地域増減	アメリカが減少、アジア、EUは増加		

（参考）ドルレートは、149.47円（前年同期比0.9%、1.42円の円高）であった。

（注）令和7年上半年分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

## 2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	48億円	▲21.1%	159億円	▲15.1%	▲111億円	▲12.2%
4期ぶりの減少			2期連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	23億円	+14.6%	輸入	増加品目	(1)パルプ	16億円	2.2倍
		(2)糖類及び同調製品・はちみつ	2億円	+65.9%			(2)有機化合物	26億円	+19.8%
		(3)織物用糸及び繊維製品	29百万円	2.2倍			(3)魚介類及び同調製品	5億円	+39.4%
	減少品目	(1)電気計測機器	88百万円	▲89.7%		減少品目	(1)木材及びコルク	—	全減
		(2)精油・香料及び化粧品類	5億円	▲46.3%			(2)石炭	17億円	▲33.5%
		(3)金属鉱及びくず	9億円	▲29.0%			(3)無機化合物	—	全減
	主要地域 増減				主要地域 増減	アメリカ、アジア、EUが減少			
						アメリカが減少、アジア、EUは増加			

## 3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	1,901億円	▲16.6%	300億円	2.3倍	1,602億円	▲25.5%
5期ぶりの減少			2期ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車の部分品	382億円	+28.4%	輸入	増加品目	(1)自動車	104億円	338倍
		(2)電気計測機器	37億円	2.6倍			(2)木材及びコルク	26億円	4.8倍
		(3)無機化合物	59億円	+38.4%			(3)飼料	4億円	全増
	減少品目	(1)自動車	829億円	▲40.2%		減少品目	(1)調製石油添加剤	22億円	▲14.2%
		(2)楽器	160億円	▲12.1%			(2)粗鉱物	48百万円	▲56.4%
		(3)二輪自動車類	64億円	▲17.9%			(3)お茶	1億円	▲35.7%
	主要地域 増減				主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少			

## 4. 静岡空港

輸出入実績なし